

第2回 化学技術セミナー

ゼロエミッションに向けて ～水素貯蔵材料の利活用～

水素貯蔵材料は、水素を安全・コンパクト・長期間にわたって貯蔵、輸送するために欠かせない技術です。二酸化炭素を排出せず、地球温暖化の切り札と言われる水素エネルギー活用の鍵を握る技術について、その社会的背景、用途展開、今後の可能性などについてご講演いただきます。

[日 時] 令和3年3月4日（木） 午後2時00分～4時00分

[開催方法] ZoomによるWebセミナー

[内 容]

「ゼロエミッションに向けて～水素貯蔵材料の利活用～」

講師 関西大学 化学生命工学部 水素エネルギー研究室

准教授 近藤亮太 氏

水素エネルギーは利用時に二酸化炭素を排出せず、地球温暖化対策の切り札として期待されています。水素の貯蔵・運搬方法には、圧縮ガス、液化水素、固溶体水素、化学結合、表面吸着などがあり、用途や費用対効果に応じて適切に利用することが大切です。水素貯蔵材料は、水素を圧力と熱によって水素原子として材料中に吸蔵、可逆的に放出することのできる物質です。水素を安全、コンパクト、そして長期間貯蔵し、輸送するために欠かせない技術であり、様々な物質が研究されています。本セミナーでは、その社会的背景から用途展開、今後の可能性など多岐にわたって解説していただきます。

[定 員] 50名(先着順)

参加申込みをいただいた方には、開催1週間前を目途に接続に必要なURL/パスワードをご案内します。

※定員を超えた場合のみ、その旨ご本人に連絡いたします。

[参加費] 無料

[申込方法] 当センターホームページからお申込みいただけます。

(<https://www.kptc.jp/seminor/210304kagaku/>)

[お問合せ] 京都府中小企業技術センター 基盤技術課 化学分析係

電話 075-315-8633 E-mail kagaku@kptc.jp

